

不登校新聞 609号(2023/09/01)-569号(2022/01/01)の見出し一覧表

号	記事(大項目、中項目)
609 (2023/09/01)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めんどくさい」がおもしろい 僕がひきこもりと事業をつくる理由</li> <li>・問題解決のためのヒント はみ出し者が持つ</li> <li>・何があろうときちんと伝えて「あなたは最高の存在である」</li> <li>・常識やルールからはみ出す「軽人減」でありたい</li> <li>・「9月1日」の子どもの自死 防ぐための原則とは</li> <li>・学校とフリースクールとの併用も 第3の居場所のススメ</li> <li>・9月1日以降を生きるキミへ どうか「毎日が夏休み」のような日々を</li> <li>・学校がある日は毎日が戦い 夏休みは休息期間</li> <li>・「こうすべき」から離れて したいことを探す期間に</li> <li>・不登校が過去最多 経験者、母、支援者から見る不登校</li> <li>・中2で不登校 授業に抱いた違和感</li> <li>・2人のわが子の不登校で実感 子育てはまちがっていなかった</li> <li>・不登校支援に何が必要か？ 当事者の声をもっと聞くこと</li> </ul>
608 (2023/08/15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい子育てに縛られた日々「理想の母」から解放されるまで</li> <li>・失敗しないように先回り 子どもは私の作品</li> <li>・夫に言い続けた「大丈夫」もっと早く頼ればよかった</li> <li>・今では居場所スタッフ 息子なりの働き方で</li> <li>・国の不登校支援指針 保護者の半数以上「知らない」</li> <li>・チャレンジを怖がる子ども 大人が学ぶ姿勢を見せて</li> <li>・夏休み直前、学校から届いた「呪いの手紙」「よき子育て」のプレッシャーがづらい</li> <li>・ちょっとした通知にも「言われちゃったな」親にのしかかる不安</li> <li>・心のトゲが抜けないときは 趣味で上書きしよう</li> <li>・完全な暗闇を視覚障がい者と歩く「ちがいを」超えて、人は支え合える</li> <li>・9月1日、子どもたちへの思い 樹木希林さんからのバトン</li> <li>・子どもたちが再発見「人間、捨てたもんじゃない」</li> <li>・障がい者が語る親への本音 もっと冒険したかった</li> </ul>
607 (2023/08/01)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小1の子どもを家に置いておけない 仕事が生きがいった私の決断</li> <li>・四面楚歌だった息子の一言「お願い、休ませて」</li> <li>・息子と家にいると 社会から問い残された感覚</li> <li>・休暇制度をフルで使い 今はフルタイム復帰</li> <li>・親がしてはいけない対応 不登校だから〇〇禁止</li> <li>・魔法の言葉「どうしてそう思ったの？」子どもと「対話」するコツ</li> <li>・就労への提案は自分への否定 私がありがたかった支援、つらかった支援</li> <li>・1週間に30分 働ける限界の時間</li> <li>・相手を理解し、特性に合った支援を</li> <li>・仲間を作る、仲間と語らう 元京大総長が10代に語る「学びの本質」</li> <li>・10代のうちに得てほしい 世界に受容されている実感</li> <li>・ゴリラと人間とのちがいを 関係性が育む自己肯定と共感</li> <li>・不登校してもいい 学びは学びたくなったときに</li> </ul>
606 (2023/07/15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私がカービィとスマブラに込めた想い</li> <li>・目指したのは誰もが楽しめるゲーム</li> <li>・自分にできることは何なのか？ 問い続けて見つけた「役割」</li> <li>・学校以外が近道に、不登校でもいい</li> <li>・家で過ごしているのに元気にならない 元気を奪う親の言動</li> <li>・ほしいのは共感か助言か 相談する際の3つのコツ</li> <li>・不登校と『進撃の巨人』『主人公病』と戦い続ける僕の人生</li> <li>・大人へのステップを踏めず 今も壁のなかにいる僕</li> <li>・4人のうち3人が不登校に 母として揺れる日々と抱えた苦しみ</li> <li>・長男・次男が相次いで不登校 気持ちの余裕が消え</li> <li>・我が家だけなぜ ほかの家庭と比べてしまう</li> <li>・学校とのコミュニケーションに迷い「口うるさい親」になりたくない</li> <li>・親も自分を責めないで いっしょにがんばろう</li> </ul>
605 (2023/07/01)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校経験者がメールで取材 弱いまま、逃げながら、どう生きるか</li> <li>・戦うときに大事なこと 退路と回復場所の確保を</li> <li>・心の一番奥底にある闘志 絶対に捨てないで</li> <li>・不登校からの高卒認定試験 受験の6つのポイント</li> <li>・「娘が知らない男性と会っています」一番のNG行動は「怒ること」</li> <li>・大人になった今でも思い出す「お弁当」と「体育」は学校の苦痛時間</li> <li>・運動が嫌いなわけじゃない つらかったのは恥をかくこと</li> <li>・不登校でゲームにハマる子ども ゲームのやりすぎで心や脳は歪まないの？</li> <li>・怒りをコントロールするには 対象から離れることが大切</li> <li>・ゲームで脳細胞が壊される 確実な証拠はない</li> <li>・ゲームの付き合い方で考えるべきことは 家族が誰も対立しない方法</li> <li>・親の意見の不一致を回避する方法 アイメッセージで話す</li> </ul>

<p>604 (2023/06/15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傾聴の専門家が教える 子どもと信頼を築く「話の聞き方」</li> <li>・相手を主役に話を聴く「傾聴」4つの重要ポイント</li> <li>・「死にたい」は「死にたいほどつらい」言葉の裏側に本音がある</li> <li>・子どもが不登校したのは 家が安全だからこそ</li> <li>・親の一番の望みは「再登校」か 笑顔を元気のためには</li> <li>・「不登校でもいい」と親が言っても 子どもが自分を責めています</li> <li>・葛藤を歌にのせて 不登校をテーマに短歌をつくってみた</li> <li>・俵万智さんに触発されて、これはやってみるしかない</li> <li>・20年の支援経験でつかんだ確信 不登校でも大丈夫だと思える理由</li> <li>・たくさんの方が社会へ なんとかなると知っていた</li> <li>・共働きでぶつかった壁 小学生一人の留守番</li> <li>・「じつはうちも・・・」と話してみたら？ 不登校はタブーじゃない</li> <li>・今、支援が必要なのは 低所得世帯の不登校</li> </ul>
<p>603 (2023/06/01)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お寿司最高かよ」がキーワード 子どもの安心を守る9つの極意</li> <li>・「叱る」と叱責のちがいは</li> <li>・信頼を重ねるために まず子どもを信じること</li> <li>・相手に関心があるサイン ユーモアの大切さ</li> <li>・3割の家庭で収入減 場の確保と経済的支援を</li> <li>・在籍校との共有なしが6割超 現場で進まないCTの活用</li> <li>・「ちゃんと」より「ま、いっか」が大事 自分を許してあげてください</li> <li>・追悼・芹沢俊介 若者の「言葉にならない思い」の代弁者</li> <li>・終始徹底していた 若者への肯定的なまなざし</li> <li>・親からも学校からも見落とされる 外国ルーツの子どもの生きづらさ</li> <li>・子どもたちが抱える困難 教師も気づけない語彙力の壁</li> <li>・語彙力の壁は家庭にも 親子での雑談さえ難しい</li> <li>・学校へ来る子どもは地域の子供も 学校はもつと地域を頼って</li> </ul>
<p>602 (2023/05/15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14年の教員生活を経て 子どもたちの「生きづらさ」に寄り添う理由</li> <li>・自分にできることは何なのか？ 抱えてきたジレンマ</li> <li>・子どもはみずから育つチカラがある 私たちは「支える土」になりたい</li> <li>・支える大人が一人では限界も 子どものために架け橋を</li> <li>・「社会で通用するか？」と葛藤する父親へ 父親だからできること</li> <li>・不登校の母親からのメッセージ わが子を信じ、支えは軽めに</li> <li>・当事者が考える「ゲームと不登校」 ゲームは疲れていた僕を癒してくれた</li> <li>・今ゲームでできるのは自分だけ 背徳感も前向きに</li> <li>・ゲームに飽きてきたら 心が回復したサイン</li> <li>・市役所を辞め、始めた活動 子どもたちにとって「つながれる居場所」に</li> <li>・対面からオンラインまで 3つの異なる環境づくり</li> <li>・家庭が苦しい子と出会い実感 信頼できる場の意義</li> <li>・思い出作りのお手伝い 不登校の過去、肯定できるよう</li> <li>・フリースクールか学校ではなく「&amp;」の関係性を目指す</li> </ul>
<p>601 (2023/05/01)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当のこと言ってもいいですか？ 不登校、なんとも思っていないんです</li> <li>・「不登校」も「学歴」も付属物 そのまま放っておこう</li> <li>・自分に聞く、過程を楽しむ おもしろく生きるコツは</li> <li>・なんとかなると知っていれば 絶対にできますよ</li> <li>・小6で不登校した私が知りたかったこと 学校へ行かないまま生きていく方法</li> <li>・心がすり減るクラス内の対立 離れたのはよかった</li> <li>・ありがたかった大人との出会い 不登校は私の一部</li> <li>・創刊25周年 編集者が語る「不登校新聞」の未来</li> <li>・著名人インタビュー、緊急号外の発行 編集する上での「核」は</li> <li>・誰一人取り残されない学びの保障 新たな不登校対策を公表</li> <li>・子どもの背景を想像する 「朝早く起きる」がムリな理由</li> <li>・「学校に行くか死ぬか」ではない 考え続け、情報の発信を</li> <li>・不登校について考えるために 「言葉」を届けていきたい</li> </ul>
<p>600 (2023/04/15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3人兄弟がみな不登校 子ども自身が見つめてきた「出口」</li> <li>・完璧主義な長男 「遅刻するなら休む」</li> <li>・不登校だった過去を息子が全否定 すこし離れて見守りたい</li> <li>・不登校からのバイト 事前準備と大事なコツ</li> <li>・「見守る」ができないときもある つらいときは逃げてください</li> <li>・高校でも大学でも不登校 大学1年生の僕が未来に放ったパス</li> <li>・責任は未来の自分に取ってもらおう 今のしんどさを無視しない</li> <li>・「無の境地」で出席し 結果的にナイスパス</li> <li>・「不登校」を卑下するのではなく価値にするのでもなく 「私であること」自体を価値にして生きる</li> <li>・イデオロギー対立を超えて 今できることは何だろう</li> <li>・不登校を核にする生き方 自分自身への呪縛にも</li> </ul>

<p>599 (2023/04/01)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小2から不登校の息子との日々 待ち続けたのはわが子の「ひま」</li> <li>・専門家の言葉よりも自分の気持ちを優先 明るい情報だけ追って</li> <li>・助けになったのは オンラインの親のつながり</li> <li>・息子のこれから 人生に希望をもって</li> <li>・不登校の子どもの教育機会を支援 千葉で全国初の条例を制定</li> <li>・「困った子」ではありません 子どもは「困っている子」です</li> <li>・もし今会えるなら何を言う？ 一番苦しかったころの自分にかけたい言葉</li> <li>・抱きしめたい、まちがっていない「君は大丈夫」と伝えたい</li> <li>・不登校を通して変わった親子関係 人生を楽しむ親の姿が希望になった</li> <li>・私にとって不登校とは 自分の世界を築く機会</li> <li>・親のよかれによる支配 主体性を奪われた</li> <li>・不安解消や自立への階段 すこしずつ自分で選択</li> <li>・「誰かのために」は必要ない 自分の人生を充実させたい</li> </ul>
<p>598 (2023/03/15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自尊心が何より大切 高1で不登校した僕が居場所をつくるまで</li> <li>・小学生から感じていた孤独 誰も理解してくれない</li> <li>・育みたいのは「自分であっていい」という感情</li> <li>・打算的な考えを捨てて「やりたい」を大切に</li> <li>・一步を踏み出すとき</li> <li>・子どもにどう接すればいいの？ 2つの極意「安心」と「NO」</li> <li>・不登校だった私の救いの場となるか 新設の教育支援センターを見学してみた</li> <li>・不登校だったときに知っていれば 通いたいと思える場だった</li> <li>・電話連絡がづらい 不登校中の学校対応を楽にする術</li> <li>・不登校を問題視する日本の教育に違和感</li> <li>・学校のよかれ 家庭の負担になることも</li> <li>・学校への連絡 ストレスのない方法を選んで</li> <li>・本音で話せる人を見つけ ぜひ学校に相談を</li> <li>・オール1だった通知表</li> </ul>
<p>597 (2023/03/01)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校をやめる」という我が家の決断 娘が小1で不登校</li> <li>・学校とのやりとり 心がけたのは「敵にしない」</li> <li>・一致点から夫婦の話し合いを どんな大人に育てほしいか</li> <li>・総合的な不登校対策を 年度内に文科省が取りまとめる方針</li> <li>・「親の責任」に耳を貸さないで みんなはがんばっています</li> <li>・「不登校」を言い換えて会話してみた</li> <li>・ふのこ、さなぎ、充電期間 やわらかな言葉はほっとする</li> <li>・葛藤と自責のすえに母が抱く息子への感謝</li> <li>・「もう学校へ行かなくていい」真っ青な息子の顔を見た親の直感</li> <li>・「死にたい」と泣き出す息子 抱きしめることしか</li> <li>・息子への対応で心がけたのは 否定せず、信頼すること</li> <li>・「楽しい時間」の共有が大事 特別なことは何もしていない</li> </ul>
<p>596 (2023/02/15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・息子は幼稚園から行き渋り 理由わからぬ不登校、見守る11年</li> <li>・何に困っているの？ せめてSOSを出して</li> <li>・2人きりだと逃げ場がない 1人の時間が何よりの救い</li> <li>・気持ちを切り替えて 私の世界を楽しもう</li> <li>・年度末が近づく今 親が焦らないためには</li> <li>・小さな拒否感が日に日に大きく「学校が怖い」という子の本音</li> <li>・高校3年間の不登校 変わるきっかけは「家族との晩ごはん」</li> <li>・不登校の話はしない ただの雑談がありがたかった</li> <li>・3.11から12年、福島県からの避難先でいじめ 原発事故後、僕が不登校になった理由</li> <li>・小4時の七夕、短冊に書いた 早く天国に行きたい</li> <li>・原発事故に思う 国は正確な情報発信を</li> </ul>
<p>595 (2023/02/01)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中2で不登校、現在は英語講師 救われたのは「ただのおしゃべり」</li> <li>・まわりに合わせるのが必須？ 本音が言えない不安</li> <li>・朝から晩まですごしたフリースクール「ちがってあたりまえ」に安心</li> <li>・今度は僕が寄り添う 話し相手になれたら</li> <li>・どうやって？いつまで？子どもを信じて「待つ」</li> <li>・この人に会えたら、変わる気がした</li> <li>・不登校の親の悩み うちの子勉強しないんです</li> <li>・「スカートをはいた大学教員」の体験談「寄り添う」とはいっしょに考えること</li> <li>・「してあげる」の落とし穴</li> <li>・押し付けにならないよう アドバイスは聞かれてから</li> </ul>
<p>594 (2023/01/15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の子と進路の話をする技術</li> <li>・前向きな結論に向かうため</li> <li>・本心を引き出す聞き手に</li> <li>・思いを尊重することで</li> <li>・出席するか否か、卒業式はどうする？</li> <li>・子どもの背景に目を向けて 昼夜逆転を解消する前に</li> <li>・優等生だった僕に起きた異変、体の不調は「もう限界」のサイン</li> <li>・維持したかった「優れた自分」他者との比較が苦しみの源</li> <li>・「隠れ発達障害」が40歳目前で発覚</li> <li>・10年以上の取材だけではわからない 当事者になって知った感覚</li> <li>・恐ろしかったのは差別意識 理解が深まれば</li> </ul>

593 (2023/01/01)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校は「問題行動」ではなく「問題提起行動」いま問われているのは学校と大人</li> <li>・これからの学校教育に必要なのは 非常口と自己決定の学び</li> <li>・不登校過去最多、メタバース支援など 2022年、子どもをめぐる出来事をふり返る</li> <li>・依存が心配？制限は必要？ゲームとの上手なつき合い方</li> <li>・不登校のその後を生きる20代の人生相談 社会的能力がなくて、この先心配です</li> <li>・「ないのもの」に縛られないで 不安は夢の材料につながる</li> </ul>
592 (2023/12/15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの世界が僕の居場所でした。中学1年で不登校</li> <li>・サポートしてくれた親に感謝</li> <li>・味方はきつというはず 人生は何とかなる</li> <li>・子どもの声に立脚した支援を 不登校理由3つの調査を比較</li> <li>・ひとりの時間をつくって 親だって休んでいい</li> <li>・おうちで遊び・学び・育つ子の1週間に密着</li> <li>・いじめをなくすための4つのヒント</li> <li>・いじめは急増・急減していない</li> <li>・加害・被害の「入れ替わり」9割がいじめをし、いじめられる</li> <li>・ストレス解消が重要 問題校則といじめは関連</li> </ul>
591	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「不登校の親」が恥ずかしかつた 父が語るわが子の不登校</li> <li>・部屋に閉じこもる息子 心配でたまらない</li> <li>・「不登校の先」を知れたこと 希望を持たせたい</li> <li>・子どもを変えるより親が変わるほうが</li> <li>・学校外の学びの支援拡充を 超党派多様な学びを創る議員連盟が発足</li> <li>・子どもの笑顔を守るヒント 不登校中の親子関係</li> <li>・家で始める「サッカー選手」になるための一歩</li> <li>・「夢」と「楽しむ心」持ち続けて 可能性は無敵だから</li> <li>・苦しかったのは親からのプレッシャー 生徒会長だった僕が不登校に</li> <li>・できるはずなのに、壊れる自分の「軸」</li> <li>・新たな軸を探して ちゃんとしなくても大丈夫</li> </ul>
590	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校へ行くんだ」と思い続けた理由 心も身体もボロボロなのに</li> <li>・「ふつう」になりたいとこだわり、無理をしすぎた高校生活</li> <li>・自分にできることを見つけたい アルバイト、通信制大学</li> <li>・不登校過去最多の24万人超 9年連続で増加</li> <li>・なぜ学校に行きたくないの？ どうしても気になる</li> <li>・私のところに刺さった「アドラー」の教え 衝撃を受けた1冊</li> <li>・どう思われるかは「他人の問題」「自分」と「他人」を分けること</li> <li>・もっとすると「不登校」になればいい 不登校は制度の問題</li> <li>・なんで期待に応えないの？ 不登校の子どもを苦しめる問い</li> <li>・どちらも選べる社会を 学校かフリースクールかではなく</li> <li>・学校がいやなら離れていい すべての子どもが学校に合うわけではない</li> </ul>
589	
588	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母と娘が語る 私たち親子のすれちがいと不登校</li> <li>・わが子を信じると決めた瞬間</li> <li>・舵取りでなく応援を</li> <li>・不登校と強迫神経症 まずは家風の切り替え</li> <li>・不登校経験者に聞く 家で始める「パティシエ」になるための一歩</li> <li>・今でも話すのは苦手 お菓子づくりが私の自己表現</li> <li>・現役学生3名がふり返る 不登校から学校へ通い始めたきっかけは</li> <li>・進学のきっかけになった思い 自分の世界を広げてみたい</li> <li>・遅れは遅れのまま、5教科全部、挽回しなくとも</li> </ul>
587	<ul style="list-style-type: none"> <li>・娘が小1から不登校 漠然とした不安と葛藤を抱えた3年</li> <li>・居場所がないなら、自分でつくってみよう</li> <li>・親子ともに自分を大事にしながら 楽しく不登校と付き合う場を</li> <li>・入学式も出ないまま不登校 私が通信制高校を卒業できた理由</li> <li>・空欄のまま、レポート提出</li> <li>・娘が小3、息子が中2で不登校 悩んで学んで見つけたら揺らがない軸</li> <li>・本当に後悔しています 宿題を無理強いさせたこと</li> <li>・不登校で悩んでいるのは私だけではない 親どうしてつながれる場を</li> <li>・不登校と起立性調節障害 子のためにできることは</li> <li>・子どもの好き・得意を大事に 多世代交流の場をつくりたい</li> </ul>

586	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きることは「夢中」を探すこと</li> <li>・心がもやもやしたら、丁寧に観察を</li> <li>・親の言う通りにはしないけれど、子どもは親のするようにする</li> <li>・親にできることは子どもの環境整備</li> <li>・ゲームばかりで心配、親に必要な心構えとは</li> <li>・編集長就任のごあいさつに代えて、私たちが届けたいものは</li> <li>・クラスメイト全員からの励ましの声、「学校へ来いよ」の手紙は、苦痛です</li> <li>・悪気のない言葉の数々、当時読まなくてよかった</li> <li>・不登校でも子どもはちゃんと育ちます 感覚過敏で6年間学校に行かなかった息子</li> <li>・子どもより私が不安 この選択であって？</li> <li>・理解のある方もいたけれど、先生の対応がバラバラ</li> <li>・不登校中うれしかったこと 妹の誕生を息子と祝う日々</li> <li>・心がラクになるヒント 自分と子どもは別</li> </ul>
585	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私がつらかったこと、支えられたもの 夏休み明けから不登校に</li> <li>・逃げることも耐えることも無理、同級生から非難の手紙</li> <li>・医師の診断で自覚、私の心は限界に達していた</li> <li>・救いになった一言、「がんばってきただね」</li> <li>・不登校はなぜ起きたの？「原因探し」は後回しで</li> <li>・小4男子が編み出した「ごきげんになる方法」、学校で教えてくれない「休み方」</li> <li>・たとえ学校が合わなかったとしても、子どもが人生に絶望しない社会を目指して</li> <li>・家庭で実践できる自己肯定感を育む4ステップ</li> <li>・忘れてはいけない 親自身のワクワク</li> </ul>
584	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私にとっての教育支援センター、小学6年生からの不登校</li> <li>・大人と話してみたかった、不登校して感じたこと</li> <li>・守り認めてくれた場</li> <li>・解説：教育支援センター</li> <li>・無理をさせない対応を、「宿題が終わらない」は子どものSOS</li> <li>・不登校その後の居場所</li> <li>・第23回不登校は幸せへの道</li> <li>・「人と比べること」を考え続けた僕の現在地、「優等生」だった僕が不登校に</li> <li>・母の一言を機に、教育支援センターへ、小学3年生で不登校</li> <li>・子に寄り添う対応に変化、大学生になり、かつて通った教育支援センター</li> <li>・見聞を広げてくれた居場所、教育支援センターは</li> </ul>
583	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心が回復する「否定しない」の極意、子どもが安心してすごすために</li> <li>・否定は傷を開くこと、不登校は心のケガ</li> <li>・子どもの心は不安でいっぱい、落ち着いているように見えても</li> <li>・花開くのはこれから、どの子も今はつぼみ</li> <li>・不登校の親もしんどい、みんなどうやって乗り切っているの？</li> <li>・家で始める「政治家」になるための一歩、不登校経験のある政治家に聞く</li> <li>・息子にとっての正解を探し続けています、現在小4の息子が不登校になって1年あまり</li> <li>・不登校の理由がわからな、大型連休明けから行きしぶり</li> <li>・夫と口論することも、息子の「勉強」めぐり</li> <li>・登校を促すべきだった？、正直、私だってつらい</li> <li>・息子を信じ続けたい、今は不登校するべき時</li> </ul>
582	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼できる場所と人に出会うまで、小学1年生で不登校になった僕</li> <li>・学校がイヤになった、自分を管理されたり、怒鳴られたり</li> <li>・教育支援センターが居場所に、自分を否定されない</li> <li>・大人に対する不快感、対等な関係が払拭してくれた</li> <li>・親に必要な声かけと対応、昼夜逆転、お風呂に入らない</li> <li>・協力支援金を支給、東京都が不登校の支援ニーズを調査</li> <li>・不登校施策、今後の重点は、都道府県教委等に通知</li> <li>・僕なりの「居場所」のつくり方を紹介します、生きづらさから抜け出すために実践した</li> <li>・第3の居場所をつくらうと思った理由、学校でも寮でもない</li> <li>・苦しみながらも行くべきか</li> <li>・子どもにも親にも必要、もう一つの場</li> <li>・居場所とは箱ではなく「人」、自分を理解してくれる人が不可欠</li> <li>・つらさを手放してもらえたら、親御さんにも</li> </ul>
581	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「別室登校」をした私のキモチ、小学校は保健室、中学校は相談室</li> <li>・先生からの頼み事、保健室へ行けなくなった理由</li> <li>・「落としどころ」だった、別室登校は私にとって</li> <li>・親の心構えとできること、「勉強の遅れ」が心配・・・</li> <li>・映画「ゆめバのじかん」川崎市子ども夢パークを追ったドキュメンタリー</li> <li>・私が中学校を休学したかったと思う理由</li> <li>・小中学校はなぜ不自由？、高校・大学の在籍年数は人それぞれ</li> <li>・教師も変わるのでは、生徒が多様なら</li> <li>・ひきこもりの現在地と今後の課題は、ひきこもりの20年をふり返る</li> <li>・プラットフォームづくりを、当事者活動への支援充実、理解者を増やす</li> <li>・支援の構図を変えるべき、対象となる当事者を否定している現状</li> </ul>

580	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望になったのは「勉強の楽しさ」、いじめと貧困、どん底の生活</li> <li>・親に言えなかった、いじめられていた事実</li> <li>・自分が満たされていく楽しさ、勉強を続け不思議な感覚に</li> <li>・勉強の無理強いはダメ、親御さんに伝えたい</li> <li>・親の「溜」を厚くする、何が出来るかその前に</li> <li>・通学の重圧で苦しんだ私を救った気づき、中学2年生からの不登校</li> <li>・通わずともよい選択、心を支えてくれた</li> <li>・学習することが楽しいと思える学校を、学びの場をつくりはじめて30年</li> <li>・まず子どもを幸福に、参考にした先人のことは</li> <li>・自己決定、個性化、体験学習、3つの基本方針</li> <li>・ふつうの学校として、本来あるべき</li> </ul>
579	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「怒りに頼らない指導」を子どもたちに、体罰や暴言でなく</li> <li>・往復ビンタと叱責、中学の部活で経験した</li> <li>・家を子どもたちのより所に、逃げ道をふさがず</li> <li>・大人もチャレンジを、古い体質から抜け出す</li> <li>・受けとめるポイントは、不登校の子どものSOS</li> <li>・不登校という「十字架」は置いていこう、30歳を目前にした僕が今、たどりついた思い</li> <li>・「こんなもんか」と思えるように、引け目に感じていた不登校</li> <li>・私たち夫婦が歩んだ、不登校からの道のり、すれちがいやぶつかり合いもあった</li> <li>・漢字のない世界へ行きたい、小3の息子が号泣</li> <li>・でも夫婦の考えにズレ、「息子を見守ろう」</li> <li>・変わるべきは親である自分、1冊の本を通して自覚</li> <li>・道はあると伝えたい、今苦しんでいる人へ</li> </ul>
578	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親はみな、自分なりにがんばっている、母として、支援者としてふり返る不登校の20年</li> <li>・息子の文を勝手に編集、担任「事実じゃないから書き直せ」</li> <li>・あなたの子どもや、大丈夫、私を救ってくれた仲間の一言</li> <li>・親が楽になれば子どもも楽に、まずは親自身が安心すること</li> <li>・自分を責めなくていいよ、小学生の7人に1人が自傷行為</li> <li>・気がつけば怖かったはずの家の外へ、叔父がくれたカメラ</li> <li>・転校後、同級生から無視中学3年生で不登校</li> <li>・不登校の理解を広げ、情報発信を、奄美大島で初の民間フリースクールを開設</li> <li>・せめて高校ぐらいは、離島の現実、親としての葛藤</li> <li>・親に寄り添いながら、かんたんに学校を切り捨てられない</li> <li>・自分を取り戻す居場所に、自分の好きなことを大切にしながら</li> </ul>
577	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今つらい人が頼れる相談窓口を、24時間365日、相談チャット開設中</li> <li>・言語化のサポートを、自分が何に苦しんでいるのか</li> <li>・傾聴し、踏み込みすぎない、相談を受ける際の原則</li> <li>・頼れる人に確実に、苦しいときほど</li> <li>・学校と保護者の対話に種に、学校への依頼分フォーマット</li> <li>・どうか今日を生き抜いて、不登校の子に最後に伝えたいこと</li> <li>・家で始める「漫画家」になるための1歩、不登校から漫画家になったプロに聞く</li> <li>・全力でのめり込んでください、あなたがやりたいことであれば</li> <li>・不登校経験者の夫が助けてくれました、中1の5月から娘が不登校</li> <li>・欠席連絡は苦痛、学校とのやりとり</li> <li>・大切なのは私自身がハッピーであること、高2の9月から息子が不登校</li> <li>・息子の笑顔が最優先、たくさん相談して気持ちを固めた</li> </ul>
576	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生の軸を変えた不登校、NHKディレクター森田智子さんに聞く</li> <li>・社会で苦しむ人たちの思いを伝えたい、報道やドラマを通して</li> <li>・暗い穴に落ちた感覚に、中3で突然の不登校</li> <li>・人種差別と劣等感、海外留学で感じた</li> <li>・小中高生の自殺、473人、厚労省「2021年中における自殺の状況」</li> <li>・心が回復する3つの対応、子どもは家で休めていますか？</li> <li>・私が学校で教えてほしかったのは、クラスでの人間関係に悩んだ</li> <li>・みんなと仲よくなければ、クラス目標で芽生えた意識</li> <li>・柔軟な価値観伝えて、人には相性がある</li> <li>・不登校、お父さんだからできること、家庭不和や子供の自己肯定感低下をどう防ぐか</li> <li>・父親は難しいポジション、ふだんの子どものようすが見えない</li> <li>・職場の常識、応用を</li> <li>・学校復帰をムリに迫らない</li> <li>・親は立派でなくても</li> </ul>

575	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心はずっとひきこもったままだった、不登校から高校進学するも</li> <li>・私は学校と合わない</li> <li>・違和感を大事にしながら、海上フリースクール、ひきこもり女子会</li> <li>・親が潰れないためには、進級進学で周りが動き出す4月</li> <li>・子どもとの話題に困ったら、なんて声をかけたらいいの？</li> <li>・「不登校ガイドブック」を作りたい、学校がづらい人のため</li> <li>・不安や迷い、解消できない、不登校中のもどかしさ</li> <li>・苦しむ人の道しるべに、経験談の分かち合い</li> <li>・父親と母親で語り合う「わが家の不登校」、つらかったことは？夫婦で考え方のちがいは？</li> <li>・夫に責められてきつい、不登校の原因は私？</li> <li>・親の心の余裕を保つために、吐き出すだけでなく、他人の話も聞く</li> <li>・自分らしく生きる方法だった、我が子にとっての不登校は</li> </ul>
574	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「息子は大丈夫」と私が思えた理由、中学進学を控えた今</li> <li>・とにかく孤独でした、家族の支えも得られず</li> <li>・息子のために変わらねば、苦しむ姿を見て覚悟を決めた</li> <li>・「よくがんばったよ」、一番うれしかった言葉</li> <li>・報告書の素案、明らかに、不登校に関する調査研究協力者会議</li> <li>・「爆発で家が揺れた」ロシア軍によるウクライナ侵攻</li> <li>・矛盾する言動の裏側には、「そろそろ学校に行く」と言っても行かない</li> <li>・私たちにとって新学期がつかったワケ、不登校経験者3名がつつる</li> <li>・新しい環境に感じるプレッシャー、担任やクラスメートの入れ替わり</li> <li>・学校の話の家でしない、救われた親の対応</li> <li>・差別や偏見のない社会を目指して、「見た目問題」を解決したい</li> <li>・外見の症状から差別が、アザ、脱毛、傷あと</li> <li>・私だからできること、当事者と非当事者をつなぐ</li> <li>・当事者でなくてもウエルカム、「みんないっしょ」を大切に</li> <li>・一番ラクな生き方で、症状を隠すもよし、隠さぬもよし</li> </ul>
573	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の子と親がゆるっとできるコツ、家庭で楽しく学びながら、笑顔で過ごす</li> <li>・重圧のあまり、うつ病に、状況は悪くなるばかり</li> <li>・「子供の笑顔」を子育ての軸に、親子ともに心の安定を保つには</li> <li>・肩の荷を下ろしていい、親だからと背負い込みすぎず</li> <li>・不登校と安否確認、対応は、子ども合わせてと言われたら</li> <li>・勉強ぎらいな子はほほいしません、不登校の子は勉強から逃げている？</li> <li>・私がうれしかったこととイヤだったこと、不登校中の両親とのコミュニケーション</li> <li>・信頼と話し合うべきだった、理由も聞かれず祖父母の家へ</li> <li>・信頼関係、築いてこそ、「親子だから」ではなりたない</li> <li>・お父さんだからこそできることがあるはず、父親どうして不登校について話し合える場を立ち上げ</li> <li>・父は子の状況が見えにくい</li> <li>・何により将来が心配</li> <li>・息子の一言で目が覚めた</li> <li>・わが子を信じて</li> </ul>
572	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの今と向き合い、支えたい、栃木県小山市にフリースクールを立ち上げて5年</li> <li>・デンマークでの学びが源、どんなフリースクールをつくるか</li> <li>・受け皿ではなく選択肢に、「おたるの家」のこれから</li> <li>・親が注意すべきことは、子どもに好きなことを見つけしてほしい</li> <li>・「子どもを待つ」の本当の意味、「いつまで待てば？」に答えます</li> <li>・家で始めるプログラマーへの道、現役バリバリのプログラマーに聞く</li> <li>・よいものを知ることから始めて、おすすめは学べる無料サイト</li> <li>・学ぶことを大事に</li> <li>・不登校には大事な意味があり、必要です、不登校でも本当に大丈夫なの？</li> <li>・まずは経験者の話を聞いて、親自身が大丈夫と思えるようになるために</li> </ul>
571	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「親御さんを支えたい」と私が思う理由、親向け無料LINE相談サービス開設</li> <li>・親だって迷っている、見守りたいけど不安</li> <li>・子どもから一歩離れてみて、子と親で悩みは違うから</li> <li>・頼ることを恐れないで、グチも大歓迎</li> <li>・子どもSNS相談、常設化へ、子どもからの相談に弁護士が対応</li> <li>・ムリして登校する子の本音は、親は「休んだら・・・」と言っているのに・・・</li> <li>・遅れた勉強、取り戻す方法は？高校進学は決まったらけれど、不登校期間が長い・・・</li> <li>・始めるための5つの心構え</li> <li>・自分を甘やかして</li> <li>・私たちが「通信制高校」に通って感じたこと、在校生・卒業生3人に聞く</li> <li>・人との距離感、調整できる、仲を深めるもよし、深めないもよし</li> <li>・コミュニケーションに不安が、先生との連絡や連携</li> <li>・わかり合える機会も、いろんな背景を持つ同級生</li> </ul>

570	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できるわけがない」ができたとき、子どもに自信が生まれる瞬間</li> <li>・優しい人を増やしたい、勤勉さだけじゃダメ</li> <li>・自信をはぐくむロケット教室、子どもの表情が変わる</li> <li>・自分の夢に近い人、人生にもっとも必要なのは</li> <li>・家を安心できる居場所に、ハウスでなくホームに</li> <li>・居場所への誘い方どうしたら、学校は休んでもどこかに通ってほしい</li> <li>・褒める子育ての意外な落とし穴、「成功体験を」の思いが裏目に</li> <li>・聞く子育てに重点、子どもの話を否定せず</li> <li>・とにかく勉強の遅れが心配でした、小学校入学式直後に息子が不登校</li> <li>・息子が玄関から動かない、「なんでこんなに重いんだろう」</li> <li>・息子より親が不安、はじめてのフリースクール</li> <li>・素直によるこべなくて、息子と同級生を比べてしまい</li> <li>・本音を話せる場所、つらいときに支えられたのは</li> </ul>
569	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の子育て、どうすれば？</li> <li>・気持ちの発散方法は</li> <li>・子どもを叱る際の3つのポイントは</li> <li>・目を見てきっぱりと</li> <li>・多様性の重要さが</li> <li>・子どもをめぐる出来事から振り返る2021年、不登校過去最多、子どもの自殺過去最多・・・</li> <li>・まず聞くべきことは「したいこと」、将来の話をするのが難しい</li> <li>・私が成人式に参加してみても感じたこと、地元の同級生から逃げ続けた</li> <li>・このまま大人になっていい？20歳の節目で浮かんだ疑問</li> <li>・もっと地元で居場所を、生きづらさを抱えた人のため</li> <li>・ひきこもって見つけた大切なもの、ひきこもり当事者・中村秀治さんに聞く</li> <li>・退職後にひきこもり始め</li> <li>・震災ボランティアへ</li> <li>・おばあさんがくれた笑顔</li> <li>・変わらない自分を</li> </ul>